

アピール文 (案)

本日、私たちは、日本の首都、東京の芝公園に一同に集まり、限りない敬虔な思いを抱いて、中国人強制連行遺骨発掘70周年を記念する中国人俘虜殉難者日中合同追悼の集いに参加し、犠牲となった6830名の俘虜殉難者を追悼します。私たちには中国人強制連行の被害者遺族と日中市民有志が含まれます。

私たちは心からの追悼の証しとして、異郷で亡くなった中国人俘虜殉難者の為に遺族と共に6830足の布靴を並べました。この一足一足の布靴には、故郷から銃剣によって無理矢理に引きはがされ日本に連行され、過酷な労働を課され、人間として扱われず、迫害され、殺されていった一人一人の人間の命があり、その一人一人に繋がる親兄弟があり、その一人一人に繋がる故郷があったことを思い起こします。

あれから、74年経ちましたが、あなた方の悲しみは今なおこの地に深く沈み、その怒りは今なお天を覆っています。なぜなら、この国の政府は、今に至るも、その事実を素直に認めようとしなないし、謝罪もしないし、賠償もしない。

これでは異郷に死んでいったあなたがたは永遠に目をつぶることも出来ない
これは、死者の怨みであり、生者の恥です！

銃剣で故郷から引きはがされ、牛馬にも劣る扱いを受けて、無念の死を強いられた死者たち！今こそ、死の淵からよみがえり来て私たちと共に歩もう！

私たちはまた日本軍国主義によって踏みにじられたアジアの全ての戦争被害者にも思いを馳せます。南京大虐殺、731細菌戦、重慶大爆撃、戦時性暴力、無数の万人坑、霧社事件、そして、泰緬鉄道、バターンの死の行進、シンガポール・マレー半島華人虐殺、…、彼らの受けた怒りと悲しみをも心に刻もう、軍国主義者によるこのような不条理な歴史を二度と繰り返させないために…。

沖縄の人々の二度とアジア侵略の基地にさせない闘いに注視し、今日も世界各地で繰り返される戦争とレイシズムの暴力に立ち向かう人びとに連帯しよう。命をかけて人間の誇りを守ろうとした花岡暴動が示した人間の尊厳を心に深く銘記し、人民の連帯を深めつつ、強い危機意識をもって、歴史に正義を取り戻す為に、共にあらゆる努力を惜しまないことをここに誓おう。

遺骨発掘70周年中国人俘虜受難者日中合同追悼の集い参加者一同
東京・芝公園 2019年11月19日